

福岡県立図書館デジタルライブラリ

「シーボルトと福岡の関係から見る世界」

YOUは何しに
日本へ？

お医者さん、だけじゃない!?
来日200年記念・もっと知りたいシーボルト

東京外国語大学	太田
立教大学	川手
鳥の博物館	望月
淡路市図書館	田村
福岡県立図書館	青木
成城学園初等学校	上村

岩崎常正 寫『シイボルト肖像』
国立国会図書館デジタルコレクション
<https://jpsearch.go.jp/item/dignl-2543107>



福岡県立図書館デジタルライブラリについて

シーボルトが残した資料はまずコチラから！！↓

https://adeac.jp/fukuoka-pref-lib/top/topg/theme/top_siebold.html



adeac.jp

福岡県立図書館デジタルライブラリ

[ふくおか資料室へ](#)

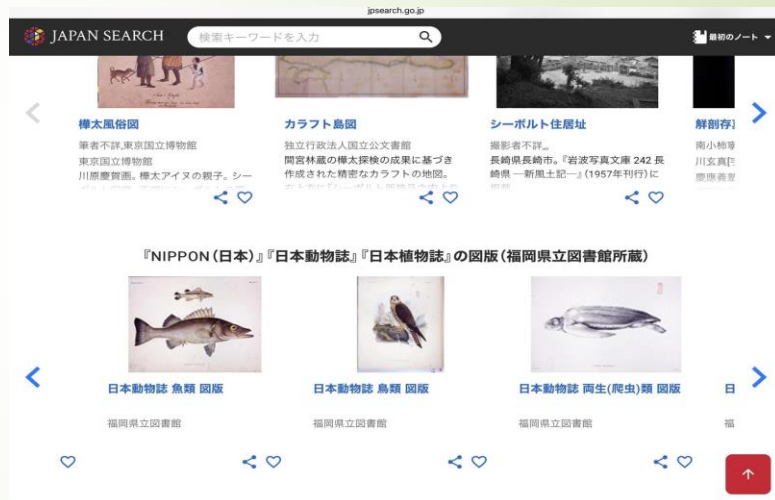
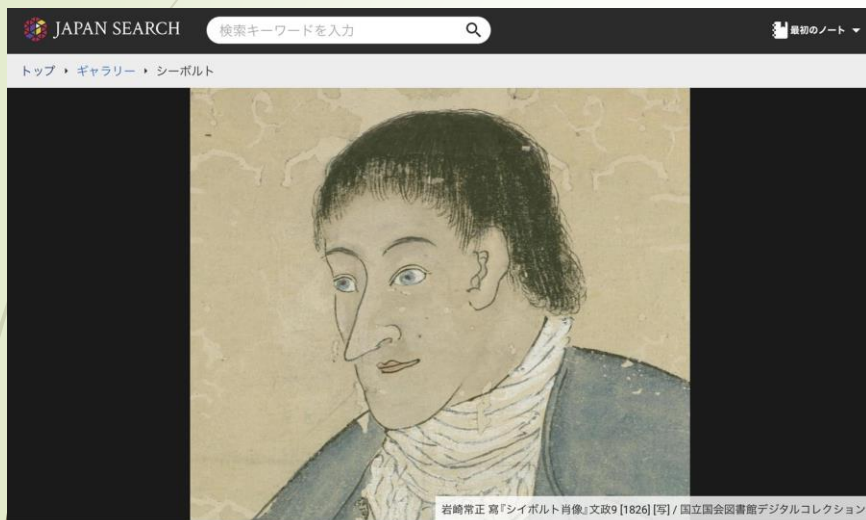
福岡県は九州と本州をつなぐ要地として、また東アジアへの玄関口として、古くから栄え、貴重な郷土資料を数多く擁した土地です。

福岡県立図書館では、福岡県に関する図書・雑誌・新聞・行政資料・古記録類・視聴覚資料などを、福岡県民の文化遺産として重点的に収集・保存し、郷土資料の収集保存に努めています。

デジタルライブラリでは、そうした郷土資料の一部を閲覧・利用しやすい形で公開しています。

- シーボルト資料
- 近世以前のふくおか
- 近代以降のふくおか
- 福岡県立図書館の歴史

ジャパンサーチ⇒ギャラリー⇒シーボルト



何のために日本へ？

シーボルトを知るキーワード

蘭学／出島／鳴滝塾
⇒医者？

シーボルト事件
⇒禁制品の地図：「伊能図」
(<https://jipsearch.go.jp/gallery/ndl-GJobEnDNJR14qm>)
オランダのスパイ？



シーボルト × 動植物の資料

シーボルト資料

Philipp Franz von Siebold 1796-1866

シーボルト資料

江戸時代の日本を訪れたドイツの医師・博物学者シーボルトは、日本に関する研究資料を持ち帰り、その成果として刊行された出版物は西洋における日本学の発展に寄りました。

ここでは、福岡県立図書館が所蔵する『日本』"NIPPON"、『日本植物誌』"Flora Japonica"、『日本動物誌』"Fauna Japonica"の図版と解説をご覧いただけます。



『日本動物誌』 ("Fauna Japonica")

1冊 縦40.5×横32.6cm
石版画 手彩色



クリックすると『日本動物誌』の図版索引画面が表示されます

ライデンの国立博物館のテンミンクが陸上哺乳動物を、同じくシュレーゲルが脊椎動物を担当したように、それぞれの専門家によって研究・執筆され、1833年から50年にかけて5つの部に分けて分冊でライデンで刊行された。シーボルトの予定では、各分冊は図版10枚、本文3~4ページ、25分冊で完結の予定だったが、結局は43分冊となってしまう、無脊椎動物は甲殻類の部だけが完結し、その他は未完となっている。合計して313種が新種であり、日本を代表する動物がヨーロッパの学会に紹介された。

参考文献：

山口隆男『シーボルトと日本の自然史研究』（『新・シーボルト研究』1 自然科学・医学編、八坂書房、2003年）

Information

福岡県立図書館が所蔵する『日本』("NIPPON")、『日本植物誌』("Flora Japonica")、『日本動物誌』("Fauna Japonica")は、大正6年(1917年)に購入されました。代金4,000円は、安川敬一郎・麻生太吉の寄付金によるものです

シーボルト 「日本動物誌」

福岡県立図書館

https://adeac.jp/fukuoka-pref-lib/top/topg/theme/siebold/fauna_japonica.html



シーボルト「日本植物誌 図版」

福岡県立図書館

https://adeac.jp/fukuoka-pref-lib/viewer/mp010080-100010/Flora_Japonica

日本で何を
観察していたのかな？



シーボルト「NIPPON」(武術の稽古)

福岡県立図書館

https://adeac.jp/fukuoka-pref-lib/iif/mp010010-100010/NIPPON_01/uv#?cv=80&c=0&m=0&s=0&r=0&xywh=-627%2C-64%2C2051%2C1110



シーボルトの暮らした出島



どうしてこんな形なんだろう？

「出島阿蘭陀屋舗景
(でじまおらんだやしきけい)」

京都府立京都学・歴彩館
http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000002074



「長崎唐館図及蘭館図巻」

九州国立博物館

https://colbase.nich.go.jp/collection_items/kyuhaku/P14991?locale=ja



【着眼点】

- ・ 国旗・人種・生活習慣（テーブル、座敷）
- ・ 外国由来の動物 など

出島に持ち込まれた動物の記録



「唐蘭船持渡鳥獸之図」

慶應義塾大学

<https://jpsearch.go.jp/item/keioobjecthub-6366>

何の店？

鳥の種類は？



歌川豊国「花鳥茶屋」

Museum of Fine Arts, Boston

<https://collections.mfa.org/objects/489262/garden-of-the-birdandflower-teahouse-kacho-chaya?ctx=72d5be00-1e0e-477a-ac96-b04f6334a512&idx=1>

【着眼点】 「鎖国」時代の日本と世界のつながり

外国への関心の高まり

「蘭癖（らんぺき）」

=蘭学を学び、西洋風の生活様式を取り入れようとする事

【蘭癖大名】

細川重賢（しげかた）（熊本藩）

島津重豪（しげひで）（薩摩藩）

黒田斉清（なりきよ）（福岡藩）

⇒世界の動植物に高い関心



「黒田斉清像」

福岡市博物館

<https://images.dnpartcom.jp/ia/workDetail?id=FCM1978P00581>

福岡市博物館HP 所蔵画像の利用について

(<https://museum.city.fukuoka.jp/about/photo.html>)

「蘭癖大名」黒田斉清とシーボルト



1828年、黒田斉清とシーボルトとの対話
「下問雑載」（かもんざっさい）

⇒ 斉清がシーボルトに与えたカエデの標本は、オランダ国立植物標本館に残っている

「下問雑載」

福岡県立図書館

https://jpsearch.go.jp/item/adeac-R100000094_I000106354_00

シーボルトの持ち帰った標本

Europeana (<https://www.europeana.eu/en>)

Siebold Naturalis Biodiversity Center



江戸後期の国際情勢を考える



黒田斉清「海寇窃策」（かいこうせっさく）（1831年）

福岡県立図書館

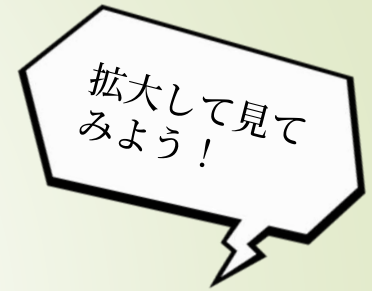
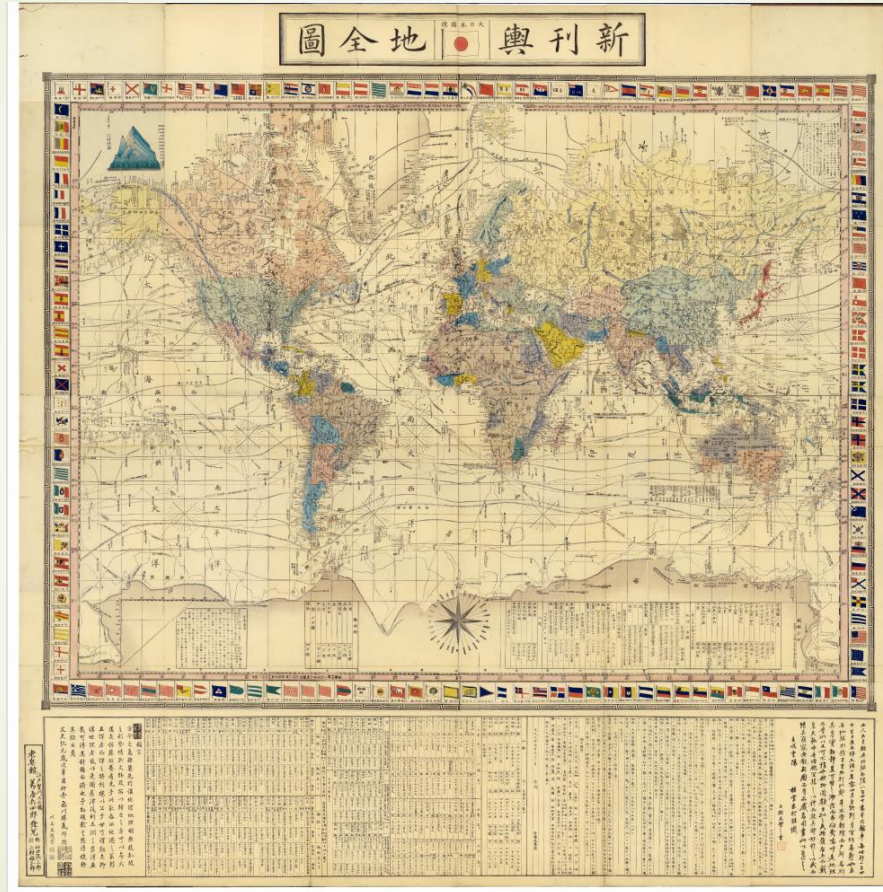
https://jpsearch.go.jp/item/adeac-R100000094_I000106353_00

【キーワード】

- ・ラクスマン／レザノフ
- ・フェートン号事件
- ・異国船打払令
- ・モリソン号事件
- ・蛮社の獄
- ・アヘン戦争

など

「世界」が強くつながりはじめる



佐藤政養「新刊輿地全図」
(1861年)

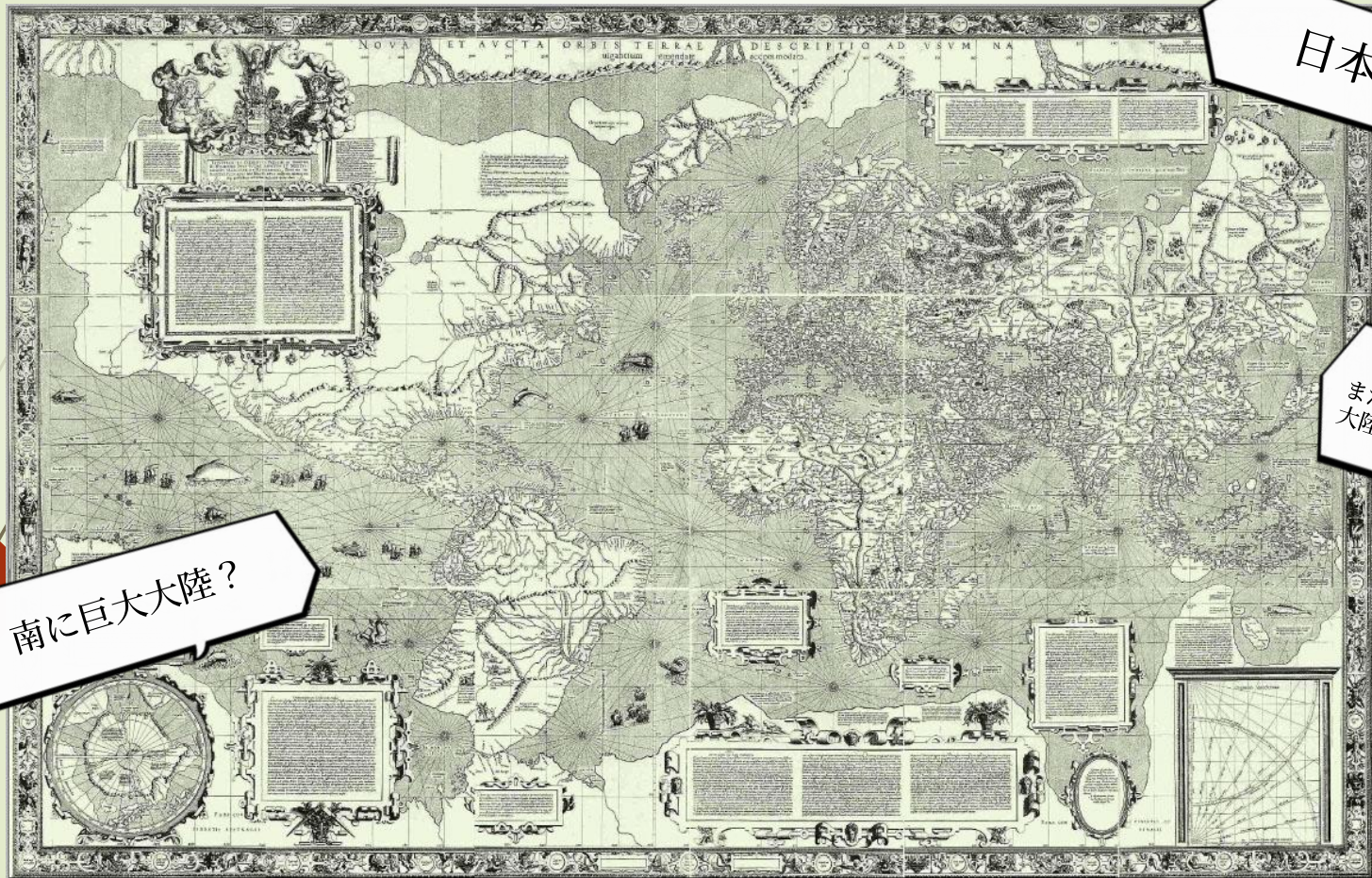
国土地理院古地図コレクション
https://jpsearch.go.jp/item/kochizu_collection-197

【着眼点】

- ・メルカトル図法
- ・ヨーロッパ中心
- ・動植物に関する情報
- ・世界の統計情報（面積・人口）
- ・国旗数（日本+158の各国旗）

など

「メルカトル地図」 (1569年)



南に巨大大陸？

日本は？

まだ描かれていない大陸も！

*Nova et Aucta Orbis
Terrae Descriptio ad
Usum Navigantium
Emendate Accommodata*
Wikimedia Commons
https://en.wikipedia.org/wiki/File:Mercator_1569.jpg

18世紀末の世界地図×AR地球儀



回すのはここから





世界の「解像度」が上がる時代 「博物学」の発展

『ビュフォンの彩色図版の続編と補遺となる彩色鳥類図譜新版』
(1838年)

Biodiversity Heritage Library

<https://www.biodiversitylibrary.org/page/35245345#page/148/mode/1up>

シーボルトが残したものを考える



シーボルト「日本動物誌 鳥類 図版」

福岡県立図書館

https://jpsearch.go.jp/item/adeac-R100000094_I000106213_00

日本は世界を知り、
世界は日本を知る

シーボルトの足跡から19世紀の日本と世界とのつながりを考える教材として、学年に合わせてアレンジしていただきましたら幸いです。

【着眼点】

- 日本へ
自然科学：動物学・植物学の系譜
西洋医学：鳴滝塾
- 世界へ
持ち帰った日本の記録、標本群
⇒オランダ・ライデン大学は日本研究の拠点に